

いつもと違う

校長 工藤 誠志

明日から冬休みです。クリスマスにお正月を迎えて子供は大喜びです。早ければ 12 月の声を聞いたあたりからクリスマスツリーを準備した御家庭があるかもしれません。いつもと同じ部屋に特別な物、クリスマスツリーが登場すると一気に雰囲気が変わります。気になって落ち着かないお子さんもいるかもしれません。その上、サンタクロースというおじいさんが登場。場合によってはプレゼントを渡してくれるのですから最高です。さらにサンタクロースが帰ってもおいしいごちそうやケーキがあるのですから気持ちは最高潮に達します。私にも小さい頃がありまして・・・不規則に付いたり消えたりする電飾がうれしくて騒いでいたのでよく叱られました。



子供はいつもと違う景色やものに敏感です。普段見る景色と異なるものが現れると、変化を感じるセンサーが私たちには備わり働きます。学校生活での経験から子供のセンサーはレベルアップしているのです。センサーの感覚が高ければ高いほど小さな変化に気が付きます。急にクリスマスツリーが出現したら、子供にとって大きな変化ですからすぐに気付きます。そして、これまでの生活経験から、数日後にどんなことが待っているのかイメージできます。子供の心は、期待感でいっぱいになるわけです。

期待でいっぱいのお子さんとはどんなことを楽しみにしているかを聞いてみてください。「楽しみにしているのは何ですか？」と直球の質問をするのもいいですね。いくつかの候補カードを用意して選ぶ方法もあります。おもちゃのカタログや地図などを一緒に見ながらプレゼントや行きたいところを聞くのもいいですね。



いつもと違う聞かれ方に子供のセンサーがどんな反応するか楽しみです。また、家族でどうしたら答えが聞き出せるのか考えることも楽しんでみてください。

冬休みはいつもと違うこと、変化のオンパレードです。この変化に対応することで子供は少し疲れ気味になるかもしれません。疲れが蓄積するとストレスとなって体調不良の原因になります。ゆっくりと休むことも大事にしてください。



皆様には今年 1 年いろいろとお世話になりました。学校の教育活動への御理解と御協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。

来年 1 月 1 6 日にいつもと同じ景色を学校で見られることを楽しみにしています。

【作品展の開催について】

今年度もハニ養のアートの玉子たちの力作を紹介させていただく機会がやってきます。令和 5 年 1 月 1 4 日～1 6 日にラピアで作品展を開催いたします。

本校の作品は力作ぞろいなので見応えがあります。御期待ください。

